

平成31年度 事業計画

1 多機能型（生活訓練・就労継続B型・就労移行支援）

(1) 生活訓練事業（定員6名） 月平均利用者目標6名

【サービス内容】

- 具体的な地域生活の理解と動議づけ
- 生活リズムの確立と食事・服薬・洗濯・掃除・洗面・買物・身だしなみ等の習得と基本動作の習得
- 日常ケア・メンタルケアを中心とした支援（高齢者の方）
- イベント開催・工場見学など屋外での活動
- カリキュラムへの積極的な参加を促し、コミュニケーション能力の向上
- 金銭管理・交通機関・電話利用など社会生活に関する習慣の定着
- SST（生活機能訓練）による円滑な対人関係社会性やマナーの習得
- 生産活動を継続して行い、就労に移行できる体制の構築
- 面談を定期的に行い、悩みや問題を話し合う事で解決できる力の育成
- 毎日の訓練参加を通し、規則正しい生活習慣を身に付け、自立に向けての支援

(2) 就労継続支援B型事業（定員45名） 月平均利用者目標45名

【サービス内容】

- 通所により、就労や生産活動の機会を提供
- 一般就労に必要な知識、能力が高まった者への一般就労等への移行に向けての支援
- 当法人内での昼食、各GHの食事（朝食・夕食）の材料の供給
- 専門の栄養士によるカロリー計算の効果的な実施
- 作業：漬物・野菜加工、きくらげ・椎茸生産・収穫作業、軽作業、施設外就労、農作業

(3) 就労移行支援事業（定員8名） 月平均利用目標8名

【サービス内容】

- 基礎体力をつけ、製造・事務等における一般知識の習得
- 仕事の責任を理解し、適性や課題の把握
- 健康管理、金銭管理面接技法の習得
- 職場での技能、マナー、挨拶、言葉遣い、身なり等の習得
- 遅刻・欠勤に対する指導と報告・連絡・相談対応力の向上
- 一般企業での職場見学・職場実習（県央センターと連携）
- トライアル雇用と適性にあった職場探しと就職後の継続支援
- 職業訓練校、大学入学等の勉強の支援、面接の訓練
- 一般就労等への移行に向けて、手作り蒟蒻・おから茶製造・販売

2 直方障害者就労支援センター（就労継続支援B型事業）（定員55名） 月平均利用者目標55名

【サービス内容】

- 通所による就労や生産活動の機会の提供
- 一般就労に必要な知識、能力が高まった者への一般就労等への移行に向けた支援
- 作業：お菓子製造、パン製造、惣菜加工、食堂・売店での実習販売等

3 直方障害者相談支援センター

<目標>

1. 本人主体のサービス計画作成とケアマネジメント（的確なニーズの把握・社会資源情報の収集と利用者への提供、自己決定の尊重・意思決定支援ほか）に誠実に取り組む。
2. 相談支援、書類作成、関係調整、利用者情報の管理など、相談支援業務全般にスタッフ間の役割分担を明確にし、関連の支援者との連携を図り、的確かつ効率的に行う。
3. コストセンスやビジネスマネジメントの意識をもって業務に当たる。

4 共同生活援助

① グループホーム直方リハビリセンター（定員105名）介護サービス包括型グループホーム

精神障害者・知的障害者・身体障害者の方が、地域社会の中にある住宅において、共同生活を営み、専任の世話人により、日常生活援助を行い、自立を実現していく為の住居として運用

② グループホームセジュールII（定員9名）日中サービス支援型グループホーム

・高齢者の方や介護の必要の方が、手厚い支援を受け入れられる体制の維持
（障がい支援区分3以上の方を中心に支援）

【サービス内容】

- 日常生活の質の維持・向上
 - 掃除、洗濯、買物の日常生活関連動作の支援
 - 健康管理（毎日バイタルチェックを継続実施）、服薬管理、金銭管理の援助
 - 緊急時の応急対策
 - 入浴・排泄の介助
- 相談援助・日常生活指導
 - 地域生活のルール、適切な人間関係に関する支援
 - 相談、日常生活指導、会話など通じたコミュニケーション支援
 - 余暇活動の支援
- ショートステイ事業
 - 緊急性の高い方の受け入れの随時受入態勢の整備

5 ショートステイ（定員：GH直方リハビリセンター5名、セジュールII1名）

<平成31年度目標>

月平均利用日数19日を目標

- 広報活動等を通じて、随時紹介
- 緊急性の高い方の随時受入態勢の整備

以上